

2021 会 告 No.10

◇通知・案内事項

○第87年会開催案内 「一般研究発表」講演募集 「シンポジウム」企画募集 ……本号7ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2021)	(2022)
<ul style="list-style-type: none"> ◇年会 ◇秋季大会 ◇支部大会 ◇学生発表会(東地区) <li style="padding-left: 20px;">(西地区) 		<ul style="list-style-type: none"> 3/16～18(神戸大学) 9/14～16(信州大学)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
10月 October			
2～3	令和3年度化学系学協会東北大会(福島県)		4号14
4	「仕様書の書き方～要求を正しく伝えるために～」講座(オンライン)		7号8
5	オンライン版「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座 (10/5, 13～14)(オンライン)		7号7
7	第28回イブニングセミナー「ものづくり現場におけるIoT化に向けた取り組み」(オンライン)		9号13
16	上席化学工学技士 面接試験【三次】(オンライン)		5号8
18～19	入門触媒科学セミナー(オンライン)		8号11
18～11/2	第25回基礎化学工学講習会(10/18～19・10/25～26・11/1～2)(東京都)		本号13
20	第17回分離プロセス部会基礎講座 吸着・イオン交換の基礎と応用 (オンライン, または北九州の会場でのハイブリッド)		8号8
20	化学工学会分離プロセス部会 第9回最新技術講座 (オンライン, または北九州の会場でのハイブリッド)		8号9
20	2021年度 開発型企業の会 第3回技術交流会(オンライン)	10月11日(月)	本号12
21	オンライン版「化学物質の安全」講座(オンライン)	10月14日(木)	7号8
22～23	第47回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代、自ら乗る波を起こせ!～」 関西セッション(兵庫県)		6号8
26	公開講演会「センサーネットワークによるスマートソサエティの実現に向けて」 (オンライン)	10月19日(火)	9号13
26	オンライン版「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(第2回)(オンライン)	10月19日(火)	本号10
28～29	2021年度粉体技術者養成講座 第2回【混合・混練】(大阪府)		6号9
30	化学工学技士試験(東京都, 大阪府)		本号11
11月 November			
4～5	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)	10月27日(水)	7号8
4～5	ナノ材料の表面分析講習(オンライン)	10月14日(木)	9号13
8～9	オンライン版「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計 編(第2回)(オンライン)	11月1日(月)	本号10
9	第14回ChETシンポジウム(オンライン)	11月2日(火)	本号16
10～12	「P&IDの作り方」講座(東京都)	11月2日(火)	本号11
11～12	2021年度粉体技術者養成講座 第3回【分級】(大阪府)		6号9
12	第6回ソフトマター工学分科会講演会・会員総会(オンライン)	10月29日(金)	9号12
12	第23回化学工学北海道アカシアセミナー(懇話会第164回講演会)(オンライン)	11月9日(火)	本号13

12～12/10	第8回 初歩からの化学工学数学演習講座「～データ解析および時系列データ分析の基礎」(オンデマンド)	12月3日(金)	本号15
15～16	オンライン版「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計 編(第2回)(オンライン)	11月1日(月)	本号10
16	第27回旬の技術・見学講演会「アンモニアをコアとした最近の窒素循環技術の講演・見学会」(オンライン)	11月9日(火)	本号14
17～19	INCHEM TOKYO 2021(東京都)		
19	脱炭素社会実現に向けた再エネ利用システムの研究開発に関する講演会(オンライン)	11月5日(金)	8号9
20	化学工学技士(基礎)試験(北海道、宮城県、群馬県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、岡山県、広島県、山口県、徳島県、福岡県、宮崎県、鹿児島県)		本号11
24～26	「プラント計装制御-1」講座(東京都)	11月16日(火)	7号8
25	岡山地区化学工学懇話会 化学工学基礎講習会(基礎編)(岡山県)	11月15日(月)	9号14
25～26	2021年度粉体技術者養成講座 第4回【粒子加工】(静岡県)		6号9
26	2021年度セミナー「中国四国地区の化学産業における低炭素化の取り組み」(オンライン)	11月12日(金)	本号17
26～27	第47回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代、自ら乗る波を起こせ!～」関西セッション(千葉県)		6号8
29	先端技術を支える単位操作シリーズ「膜材料・膜分離の最前線」(オンライン)	11月19日(金)	本号16
12月 December			
2～3	オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編(オンライン)	11月26日(金)	本号11
7	シンポジウム「次世代半導体の展望 ～原理と製造技術～」(オンライン)		本号12
14～15	化学工学会関西大会2021講演・参加募集案内(オンライン)		本号16
15～16	第55回 化学工学の進歩講習会「脱炭素への工学」(愛知県)	11月30日(火)	本号14
16～17	第27回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム(FB27)・第16回反応装置・プロセスシンポジウム(オンライン)	11月26日(金)	本号12
未定	2021年度粉体技術者養成講座 第5回【集じん】(未定)		6号9
2022年2月 February			
3～4	2021年度粉体技術者養成講座 第6回【ろ過】(大阪府)		6号9
24～25	2021年度粉体技術者養成講座 第7回【粉碎】(大阪府)		6号9
2022年3月 March			
16～18	化学工学会第87年会(兵庫県)	12月22日(水)	本号7
2022年9月 September			
14～16	化学工学会第53回秋季大会(長野県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
10月5日	国際ワークショップ Women Scientists Working on Membranes(オンライン)		本号12
12月5～8日 (暫定)	26th International Symposium on Chemical Reaction Engineering (ISCRE26) (New Delhi, India)		
2022年6月19～23日	11th World Congress of Chemical Engineering-WCCE11 (Buenos Aires, Argentina)		
2022年6月19～23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021(PSE 2021+)(京都府)		6号8
2022年8月中旬で 調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		

◇共催・協賛行事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号 (FAX) E-mail, URL
「クリーン・コール・デー」記念行事(東京都)	8月5日～10月5日 (木～火)	クリーン・コール・デー実行委員会 (電源開発(株), 一社日本鉄鋼連盟, 一社セメント協会, 日本製紙連合会, 一財石炭フロンティア機構:事務局)	03-6402-6100 (03-6402-6110) jkamada@jcoal.or.jp http://www.jcoal.or.jp/ccd/top/index.html
第38回センシングフォーラム 計測部門大会～新たな地平を切り開くセンシング～(オンライン)	9月30日～ 10月1日(木～金)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp
環境・リサイクル専門委員会主催シンポジウム (福岡県/一部オンラインによるハイブリッド形式)	10月5日(火)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3799-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp
IFPEX2021(第26回フルードパワー国際見本市)(東京都)	10月6～8日 (水～金)	日本フルードパワー工業会, フジサンケイビジネスアイ	03-3432-4722 (03-3432-4730) info@ifpex.jp http://www.ifpex.jp/2021
第72回白石記念講座「進化するポリマー-自動車における金属材料との共存共栄-」(オンライン)	10月8日(金)	(一社)日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) naraoka@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2021/shiraishi72.html
粉体工学会第56回夏期シンポジウム (大阪府またはオンライン)	10月8～9日 (金～土)	粉体工学会	http://www.sptj.jp/
第8回アジア粉体工学シンポジウム(APT2021)(大阪府)	10月11～14日 (月～木)	APT実行委員会	apt2021@chemeng.osakafu-u.ac.jp https://apt2021.org
第7回材料WEEK(京都府)	10月12～15日 (火～金)	日本材料学会	jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp
国際粉体工業展大阪2021(大阪府)	10月13～15日 (水～金)	日本粉体工業技術協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2021@powtex.com https://www.powtex.com/osaka/
第15回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム-多様な時代における電磁波・マイクロ波技術の発展と進化を展望する国際シンポジウム-(オンライン(ZOOM))	10月13～15日 (水～金)	日本電磁波エネルギー応用学会	03-3414-4554 (03-3414-4554) office@jemea.org https://www.jemea.org/?p=51633
第34回日本吸着学会研究発表会(オンライン)	10月14～15日 (木～金)	日本吸着学会	022-217-5627 annualmeeting@j-ad.org http://www.j-ad.org
ケミカルマテリアルJapan2021-ONLINE-(オンライン)	10月18～29日 (月～金)	化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861) h_onodera@chemicaldaily.co.jp
ALC' 21 Online (13th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices, Online)(オンライン)	10月19～20日 (火～水)	公益社団法人日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) alc21@jvss.jp http://www.jvss.jp/division/mba/alc/alc21/
第69回レオロジー討論会(北海道)	10月20～22日 (水～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
連合年会2021(第35回日本イオン交換研究発表会・第40回溶媒抽出討論会)(福岡県)	10月21～22日 (木～金)	日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会	093-695-3281 (093-695-3716) symposium@jaie.gr.jp http://www.jaie.gr.jp/00japanese/index.html

「化学の日」パネルディスカッション 2050年カーボンニュートラルの実現—地球規模の課題に取り組む 化学系学協会—(オンライン)	10月23日(土)	(公社)化学工学会, (一社)触媒学会, (公社)高分子学会, (公社)日本化学会, (一社)日本化学工業協会, (公社)有機合成化学協会	03-3292-6163 (03-3292-6187) cn@chemistry.or.jp https://www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html
第42回日本熱物性シンポジウム(オンライン)	10月25～27日 (月～水)	日本熱物性学会	011-706-6429 (011-706-6429) info2021@jstp-symp.org http://jstp-symp.org/symp2021/
一般社団法人環境資源工学会 シンポジウム「リサイクル設計と分離精製技術」 第39回:スラッグの有効利用(オンライン)	10月26日(火)	一般社団法人環境資源工学会	03-6459-2203 (03-3403-1776) info@rpsj.org https://www.rpsj.org/symposium39/
第58回石炭科学会議(宮城県)	10月26～27日 (火～水)	日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) sekitan58happyo@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/792/
第68回材料と環境討論会(オンライン)	10月26～28日 (火～木)	公益社団法人腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/68.html
第57回熱測定討論会(オンライン)	10月27～29日 (水～金)	日本熱測定学会	03-5821-7120 (03-5821-7439) netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org/2021online/
第16回日本エレクトロヒートシンポジウム (東京都/オンライン)	11月1～30日 (月～火)	一般社団法人日本エレクトロヒートセンター	03-5642-1733 (03-5642-1734) nakatani@jeh-center.org https://www.jeh-center.org/16thEHsympo.html
APRIN 技術倫理セミナー「事例で学ぶ技術者倫理」 (オンライン)	11月2日(火)	(一財)公正研究推進協会	03-5937-0900 (03-6908-5523) admin@aprin.or.jp https://www.aprin.or.jp/seminar/seminar_detail
日本コンピュータ化学会2021秋季年会 (茨城県/オンライン)	11月2～3日 (火～水)	日本コンピュータ化学会	029-853-6496 (029-853-6496) sccj2021aut@ccs.tsukuba.ac.jp https://www2.ccs.tsukuba.ac.jp/people/sccj2021aut/
2021年日本表面真空学会学術講演会(オンライン)	11月3～5日 (水～金)	(公社)日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) taikai2021@jvss.jp https://www.jvss.jp/annual/mtg2021/
持続性社会のための材料とシステムに関する国際会議2021(愛知県)	11月4～6日 (木～土)	名古屋大学未来材料・システム研究所	052-581-3241 (052-789-4219) icmass2021@intergroup.co.jp http://www.icmass.nagoya-u.ac.jp/
第176回講演会 AI/IoTの動向とその活用(オンライン)	11月5日(金)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp
「高分子材料・炭素繊維複合材料の耐久性評価」に関する講習会(オンライン)	11月5日(金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
公開シンポジウム「カーボンニュートラルに向けた熱エネルギー利用の可能性と課題」(東京都)	11月6日(土)	日本学会会議	energy@functional-fluids.co.jp

オンライン技術セミナー「圧力設備の材料、設計、施工、維持管理の基礎」(オンライン)	11月9～10日 (火～水)	(一社)日本高圧力 技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/murt9w9cg-178/#
第12回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(オンライン)	11月9～11日 (火～木)	日本機械学会	03-4335-7614 mmm2021@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/ mmm2021/
海水資源・環境シンポジウム2021(オンライン)	11月11日(木)	日本海水学会 海水 資源・環境研究会	0465-47-3161 (0465-48-6242) shigen@swsj.org https://www.swsj.org/research/ research-06.html
酵素工学会第86回講演会(東京都)	11月12日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme.engjsee@gmail.com https://www.jsee86.enzyme-eng.com
第242・243回西山記念技術講座「最近の電気炉技術の進歩—平成30年を振り返る—」(オンライン)	11月12日(金)	(一社)日本鉄鋼協 会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2021/ nishiyama242.html
第64回自動制御連合講演会(京都府)	11月13～14日 (土～日)	システム制御情報 学会	rengo64@iscie.or.jp https://rengo64.iscie.or.jp/
触媒学会 第32回キャタリススクール(オンライン)	11月17～19日 (水～金)	(一社)触媒学会	045-339-4297 (045-339-4297) catalyschool2021@sec-informations.net https://www.sec-information.com/ catalyschool2021/
(一社)日本高圧力技術協会 オンライン技術セミナー「エネルギー貯蔵技術の最新動向」(オンライン)	11月18日(木)	(一社)日本高圧力 技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/muhsof1lg-178/#
第42回ドライプロセス国際シンポジウム(DSP2021)(オンライン)	11月18～19日 (木～金)	第42回ドライプロ セス国際シンポジ ウム組織委員会	070-5268-6664 (020-4622-1920) dps2021@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2021/
第11回イオン液体討論会(オンライン)	11月18～19日 (木～金)	イオン液体研究会	070-5658-7626 (020-4622-1920) ioniquid@officepolaris.co.jp https://www.ilra.jp/
第20回破壊力学シンポジウム(和歌山県)	11月22～24日 (月～水)	日本材料学会	jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp
第59回燃焼シンポジウム(オンライン)	11月22～24日 (月～水)	一般社団法人日本 燃焼学会	052-789-2710 sympo59@combustionsociety.jp http://www.combustionsociety.jp/ sympo59/index.html
メンテナンス・レジリエンスTOKYO2021(東京都)	11月24～26日 (水～金)	一般社団法人日本 能率協会, 公益社 団法人日本プラ ントメンテナンス協 会	03-3434-1988 (03-3434-8076) mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/tokyo/
The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9)(香川県)	11月28日～ 12月2日(日～木)	日本表面真空学会	(03-3812-2897) iss9@jvss.jp http://www.jvss.jp/iss9
第35回分子シミュレーション討論会(岡山県)	11月29日～ 12月1日(月～水)	分子シミュレー ション学会	086-251-7904 (086-251-7853) koga@okayama-u.ac.jp http://sympo.mol-sim.jp/mssj35/
2021 合同 WEB 討論会 ～第41回水素エネルギー協会大会, 2021HESS 特別講演会, 第45回電解技術討論会—ソーダ工業技術討論会—(東京都/オンライン)	11月29日～ 12月10日(月～金)	(一社)水素エネル ギー協会, (公社) 電気化学会 電解科 学技術委員会	secretary@hess.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/ hessecsj2021/top

第29回秋季大会(オンライン)	11月30日～ 12月1日(火～水)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
第48回炭素材料学会年会(沖縄県)	12月1～3日 (水～金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@bunken.co.jp http://www.tanso.org/contents/event/ conf2021/index.html
第19回評価・診断に関するシンポジウム(オンライン)	12月2～3日 (木～金)	日本機械学会	03-4335-7622 dmc-support@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/21-58/
第41回レオロジー講座 - 基礎と測定法 - (京都府)	12月6～7日 (月～火)	日本レオロジー学 会	075-315-8687 office@srj.or.jp https://www.srj.or.jp/
International Symposium on Catalysis and Fine Chemicals (C&FC2021)(東京都)	12月6～10日 (月～金)	触媒学会 ファイン ケミカルズ合成触 媒研究会	06-6850-6260 mizugaki@cheng.es.osaka-u.ac.jp
Salt & Seawater Science Seminar 2021(神奈川県)	12月8日(水)	(公財) 塩事業セン ター 海水総合研 究所	0465-47-3161 (0465-48-6242) kouenkai@shiojigyo.or.jp https://www.shiojigyo.com/institute/ event/ssss/
2021年度計算力学技術者資格認定試験1・2級 (全国指定会場)	12月9～16日 (木～木)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7616 caenintei@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/cee/
第35回数値流体力学シンポジウム(宮城県)	12月14～16日 (火～木)	日本流体学会	cf35-admin@grp.tohoku.ac.jp http://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd35/
第30回微粒化シンポジウム(オンライン)	12月16～17日 (木～金)	日本液体微粒化学 会	06-6466-1588 (06-6463-2522) infomation_atmz@ilass-japan.gr.jp https://www.ilass-japan.gr.jp/
食品ハイドロコロイドセミナー2021, 第32回食品ハイドロコロイドシンポジウム (東京都/オンライン同時開催)	12月17～18日 (金～土)	食品ハイドロコロ イド研究会	03-5463-0581 (03-5463-0581) sympo@food.hydrocolloids.org http://food.hydrocolloids.org/sympo
第33回高分子ゲル研究討論会(東京都)	2022年1月20～ 21日(木～金)	高分子学会高分子 ゲル研究会	03-3554-3771 (03-3554-3737) resg1@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/
自律分散システムシンポジウム2022(オンライン)	2022年1月21～ 22日(金～土)	計測自動制御学会 システム・情報部 門	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp https://sites.google.com/sice-das.org/ das34th/
第38回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス (未定(オンラインを含め検討中))	2022年1月25～ 26日(火～水)	一般社団法人エネ ルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) okabe@jser.gr.jp https://www.jser.gr.jp/
第16回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム (東京都)	2022年 1月26～28日 (水～金)	再生可能エネ ルギー協議会	03-5294-3888 (03-5294-0909) icouncil@renewableenergy.jp https://www.renewableenergy.jp/2022/ jp/
The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows(オンライン)	2022年3月15～ 17日(火～木)	The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows実行委員会	03-3259-0750 (03-3293-8254) kimura.motoaki@nihon-u.ac.jp http://www.mech.cst.nihon-u.ac.jp/ ICJWSF2022/
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	2022年 11月15～18日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/

第87年会 開催案内

「一般研究発表」講演募集 「シンポジウム」企画募集

会場：神戸大学鶴甲第1キャンパス(〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲1丁目2-1)
(口頭セッションの一部で双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定)

会期：2022年3月16日(水)～3月18日(金)

講演申込期間：2021年11月1日(月)～12月22日(水)23:59

大会Webサイトからの申込に限ります。

講演要旨原稿提出期間：2022年1月5日(水)～2月16日(水)23:59必着

講演要旨原稿は、大会Webサイトからの電子ファイル(PDF)での提出に限ります。

一般講演、招待講演とも、締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。締切日以降、講演要旨原稿の訂正は一切できません。

大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/87a/>

化学工学会第87年会は、2022年3月16日(水)～18日(金)の3日間、神戸大学鶴甲第1キャンパスにおいて開催されます。(口頭セッションの一部で双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定です。ただし新型コロナウイルス感染症の状況によっては会場変更あるいはオンライン開催に変更される可能性があります。)今回の年会では、一般研究発表に加え、産業セッション、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」、国際シンポジウム(英語セッション)を行います。その他のシンポジウムも企画中です。多数のご参加、講演申込をお願いいたします。

講演申込は大会Webサイトからのみ受け付けます。大会Webサイトでの説明に従ってください。講演申込締切後の変更、訂正は一切できませんので、ご注意ください。

講演要旨原稿は、電子ファイル(後述)として作成して下さい。講演要旨原稿が締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしませんので予めご了承下さい。

(ここに掲載されている諸事項は変更される場合があります。最新情報は大会Webサイトをご確認ください。)

新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、現下の情勢から、口頭セッションの一部で双方向ライブ配信を併用した「オンライン・オンサイト併用開催」で計画しております。全てのセッションについてオンラインでの参加(登壇・聴講)を可能とします。ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。なお、第87年会は、「化学工学会本部が主催するイベント開催形態に関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。最新情報は大会webサイトをご確認ください。

注意点

○各開催形態に応じた発表可否の選択について
本大会では、双方向ライブ配信で実施するセッションを含め、全ての講演をインターネット配

信します。オンライン参加者は遠隔会議システム(Zoom)の環境準備(カメラ、マイク;PC付属のものでも可;ヘッドセットマイクが望ましい)が必要となります。また、発表内容は自動公衆送信による再送信とみなされますので、他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

口頭セッションの一部は双方向ライブ配信での実施となる予定です。ライブ配信会場はオーガナイザーが指定した場所となり、神戸以外となる場合もあります。双方向ライブ配信会場にご来場いただける参加者(登壇者・司会等)は、当該セッションに関してはZoomに関する準備は不要です。

なお、開催形態、オンライン参加・オンサイト参加に係らず一切の録音・録画・撮影を禁じます。このことについて大会参加登録の際に同意いただきます。

つきましては、講演申込の際に、オンラインでの発表が可能かどうかをご選択いただきます。(双方向ライブ配信で計画されているセッションであっても、オンライン実施に変更となる可能性があるため同様に回答下さい。)オンラインで発表が難しい場合、代替発表環境(PC貸出もしくはネット環境用意)にて発表可能かどうかをご選択いただきます。詳細は大会Webをご覧ください。

○講演発表申込時の発表者事前了解について

必ず、発表者(連名)全員の事前了解を得てください。

申込フォームにこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。

○化学工学会資格(※)保有有無について

発表者の化学工学会資格保有状況が入力項目となっています。保有されている化学工学会資格をここに入力いただいた場合、プログラム集にもその旨掲載されます。また、該当者のポスター発表については、ポスターボードに保有資格を示す印を付与します。必須入力項目ではありませんが、資格を持っておられる方は是非ご協力下さい。

(※上席化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士(基礎)、化学工学修習士。保有している最上位資格を入力するようになっていきます。)

また、口頭発表時投影資料、ポスター等に発表者名を記載される場合も、保有資格を是非ご記載下さい。

○口頭発表時投影資料、ポスター掲示資料の使用言語について

学術発表の口頭発表時投影資料は、英語表記を強く推奨しています。学術発表のポスター掲示資料は、原則として英語表記とします。

講演申込について

○申込資格

1) 講演の申込者および登壇者は、下記の方に限ります。

化学工学会

正会員(名誉会員を含む)

学生会員(ただし、修士課程以下の学生はポスター発表のみ)

教育会員

海外会員(海外正会員、海外連携会員、海外学生会員)

法人会員(維持会員、特別会員(特別地区会員を含む))に属する社員)

共催学会の個人会員

特別講演者および招待講演者、依頼講演者

中国化学工学会(CIESC)、韓国化学工学会(KICHe)、台湾化学工学学会(TwICHe)、ドイツ化学工学バイオ学会(DECHEMA)、米国化学工学会(AICHe)の個人会員

上記に該当しない登壇予定者は、至急、入会手続きをお願いします。本会への入会手続きと問い合わせは、化学工学会Webサイト(<https://www.scej.org/>)をご参照下さい。

2) 講演内容は未発表のものに限ります。

3) なお、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」の申込資格、講演内容等の詳細については、後述します。

○申込方法

講演を希望される方は、大会Webサイトからお申し込み下さい。講演申込期間は、2021年11月1日(月)から12月22日(水)です。大会Webサイトからの申し込みに限ります。なお、講演申込締切日以降の講演題目、発表者の変更および訂正などは、一切受け付けませんのでご了承下さい。

講演申込が正しく受理された場合には、受理番号が記載された「受理通知」がE-mailで返送されます。この受理番号と、申込時にご自身にて入力いただいたパスワードは、問い合わせや講演要旨原稿の提出(アップロード)の際に必要となりますので、大切に保管して下さい。受理し

た講演申込は、受理から約15分以内に、その一覧(受理番号、講演題目、発表者、キーワード)を大会Webサイトに掲載しますので、受理の確認にお使い下さい。

なお、講演プログラムの編成上、申し込み時にご希望いただいた講演分類を変更させていただく場合がありますが、その振り分けは実行委員会に一任下さい。

○申込時の注意事項

- *講演申込期間以外は受理できません。
- *JISコードのない日本語文字は使用しないで下さい。特に、丸数字や組み文字などの機種依存文字は使用しないで下さい。
- *講演申込1件分を1つずつ送信して下さい。
- *二重送信は絶対にしないで下さい。
- *申込内容に不備がある場合にはその内容が送信されず、不備項目が表示されます。元のフォームを訂正して再度送信して下さい。申込が受理された場合には、指定されたE-mailアドレス宛(申込者、研究グループ代表者)に受理番号を記載した受理通知が送られます。
- *申込完了から24時間以内に受理通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にE-mailで、申込送信日と講演題目をお知らせ下さい。
- *プログラム編成において、登壇者と研究グループ代表者については同じ時間に複数の講演や座長が重ならないよう配慮します。
- *最終日はサーバーが非常に混雑し、申込ができない事態の生じることが予測されます。余裕をもって申し込み下さい。
- *大会Webサイトにも注意事項を記載いたしますので、必ずご覧下さい。

○講演分類

申込時には、下記の分類とともにキーワード(英語)を3つ入力して下さい。

○一般研究発表

[1. 基礎物性]

平衡物性・輸送物性、固体物性、薬品の毒性・引火点、エンジニアリングデータ

[2. 粒子・流体プロセス]

熱物質流体工学、攪拌・混合操作、流動層技術、気泡塔・懸濁気泡塔、混相流、粉体プロセス

[3. 熱工学]

熱的単位操作、燃焼・プラズマ・伝熱、熱交換器、各種エネルギーシステム、マイクロおよびバイオテクノロジーへの伝熱・輸送現象の展開

[4. 分離プロセス]

膜工学、固液分離、蒸留、吸収、吸着・イオン交換、抽出、晶析、乾燥、特殊分離法

[5. 反応工学]

触媒反応工学、ソノプロセス、活性種化学、反応分離、反応装置、マイクロ化学プロセス、CVD・ドライプロセス

[6. システム・情報・シミュレーション]

プラントオペレーション、プロセスエンジニアリング、プロセスダイナミクス応用、プロセス制御、最適化手法、情報処理技術

[7. バイオ]

生物プロセス、生体反応、生物分離、遺伝子、メディカル、生物情報、環境生物、食料・食品

[8. 超臨界流体]

単位操作、基礎物性、分離・抽出、反応・物質変換、材料創製・製造、環境負荷低減プロセス

[9. エネルギー]

エネルギー開発、蓄熱・増熱・熱輸送技術、炭素系資源利用、熱エネルギー利用、新エネルギー・エネルギーシステム

[10. 安全]

リスクコミュニケーション方法、オペレーシ

ン設計法、安全設計、変更管理、安全性評価手法、安全技術伝承、少人化・無人化問題、物質安全

[11. エレクトロニクス]

電気化学プロセス(電池、めっき、等)、電子材料プロセス(半導体製造、電子回路製造、等)、微細加工技術(エッチング、薄膜形成、等)、高信頼性設計(高放熱、短絡現象、等)、インターコネクション技術(接着、接合、等)、環境持続可能技術

[12. 材料・界面]

界面制御、エマルジョン、機能性微粒子、ナノ粒子、ゲルテクノロジー、マイクロカプセル、晶析、塗布技術、微細構造形成・複雑分子集合体、機能化高分子素材、材料プロセッシング、材料レオロジー

[13. 環境]

水環境プロセス、排水処理技術、化学物質のリスク・管理、循環型社会設計手法、リサイクル技術、地球環境、CO₂問題、地球全体の炭素循環

[14. 広領域]

テクノロジーマネジメント、経済評価・市場調査、教育、JABEE、その他

講演要旨原稿について

○作成・提出方法

講演要旨原稿の提出期間は、2022年1月5日(水)から2月16日(水)23:59までです。作成した講演要旨原稿をPDFファイルに変換し、大会Webサイトから提出(アップロード)して下さい。郵送、FAX、E-mailによる提出は受け付けません。講演題目や発表者名(連名発表者全員)が申込時のそれと異なるように注意して下さい。異なっている場合はプログラム(大会webサイト、講演要旨集、冊子)に反映されないことがあります。

大会Webサイトに、標準的な書式ファイル(Microsoft Wordファイル)を掲載します。ご利用下さい。

- 1) 講演要旨原稿はA4縦置きで作成し、PDFファイルで提出(アップロード)して下さい。大会Webサイトではカラーで掲載されます。
- 2) 原稿枚数は図表を含めて講演1件に対して1枚(1ページ)です。ただし、20分を超える講演は2枚(2ページ)です。
- 3) 原稿1ページの書式は以下を基準とします。全体体裁:2段組み、24字×49行×2段=2352字、段間の間隔6mm
マージン:上23mm、下23mm、左19mm、右19mm
字数、行数は多少変動しても構いませんが、横172mm、縦251mmの中に全内容を納めて下さい。
- 4) 原稿紙面の左上部は講演番号記載のため、左マージンから31mm(9文字分)、上マージンから21mm(4行分)を空白にしておいて下さい。
- 5) 講演題目は、1行目の左マージンから31mm(9文字分)空けて、本文より大きく書いて下さい。
- 6) 研究者氏名を「(所属略称)(会員資格・保有している取得化学工学会資格)氏名」の順に、3行目から右に寄せて書いて下さい。所属名は略称を記入して下さい。会員資格は、正会員は(正)、学生会員は(学)、法人会員に属する社員は(法)、海外(正・連携・学生)会員は(海)、部会のみ会員(部会個人賛助会員、部会法人賛助会員に属する社員)は(部)と記し、その他の場合は書かないで下さい。保有している化学工学会資格は7)を参照して下さい。連名の場合は、登壇者の会員資格の前に○印をつけて下さい。また、後日、講演内容について質

問を受けていただける方の右上に*印をつけて下さい。

(例)(神戸大工)○(正・技士)化工一郎*・(学)神戸花子・鶴甲太郎

- 7) 発表者の保有している化学工学会資格は、最上位のものを以下の略称で記して下さい。化学工学修習士:修習、化学工学技士(基礎):技基、化学工学技士:技士、首席化学工学技士:上技。

(例)(正)、(正・技基)、(学・修習)、(法・上技)等

- 8) 本文は5行目左欄から書いて下さい。ただし、2ページ以上の原稿の場合、2ページ目は1行目から書いて下さい。
- 9) 原稿の右下に脚注として*印をつけ、6)で説明した後日の連絡のためのE-mailアドレスを記載して下さい。

<PDFファイルに関する注意点>

- 1) ファイルサイズは1229kB以下にして下さい。
- 2) セキュリティ設定は「なし」にして下さい。
- 3) 「全てのフォントの埋め込み」を行って下さい。
- 4) PDFファイル作成後、図表のレイアウト等の体裁を、必ずご自身にて確認のうえ提出(アップロード)して下さい。
- 5) PDFファイルの提出(アップロード)には、受理番号と講演申込時にご入力いただいたパスワードが必要です。受理番号は、大会Webサイトの「受理済み申込一覧」でご確認いただけます。パスワードを忘れた場合は、原稿提出画面の「パスワードが分からない方はこちら」から確認いただけます(受理通知が再送されます)。
- 6) 締切日までの間は、何回でも「提出(アップロード)」を行うことができ、PDFファイルの差し替えが可能です。締切日後は、提出や訂正は一切できません。

<講演要旨原稿提出時の注意事項>

- *締切日までに提出されなかった講演要旨原稿は、一般講演、招待講演、依頼講演とともに、大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。
- *締切日後の講演要旨の提出や訂正は、一切受け付けません。

○審査

講演要旨原稿について、書き方の体裁など簡単な審査を行います。規定に従っていない場合、受理しないことがあります。

○化学工学会 電子図書館での事後公開について

化学工学会では、化学工学会Webサイト(会員専用ページ)の「電子図書館」にて、講演要旨の事後公開を行います。要旨の作成に際しては十分に内容をチェックしていただくようお願い申し上げます。電子図書館での事後公開は大会終了から3カ月後です。

発表方法(一般研究発表)について

発表方法の詳細については大会Webサイトに掲載いたします。必ずご確認ください。

特許上の新規性の保護について

特許法第30条第2項の規定により、特許を受ける権利を有する者が本会が主催する大会において公表した講演要旨ならびに講演発表内容は、特許法により規定された所定の手続きを経

ることによって、公表後1年以内であれば、該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。この場合、本会による、公表ないし発表がなされたことを証明する文書、が必要になる場合があります。詳細については、本会Webサイト (<https://www.scej.org/inquiry/intellectual-property.html>) をご確認ください。また、第87年会の講演要旨公表日は2022年3月2日(水)です。

広告・プロモーションビデオ・オンライン展示の募集(予告)

バナー広告、オンライン展示、プロモーションビデオ掲載等を募集いたします。詳細は次号会告および大会Webサイトをご覧ください。

危機管理対応

危機管理規程による危機への対応を事前に参加者に告知する予定です。

「SCEJ冠シンポジウム」

個別企業の名前でセッションを開く、企業冠シンポジウムを募集します。各企業の化学工学に関する技術や将来ビジョンを発表いただく機会です。詳細は大会Webサイトをご覧ください。

「産業セッション」

第80年会(2015年)より継続して開催している

「産業セッション」を本大会でも実施いたします。産業界出身の委員によってテーマ設定された複数の口頭セッション、ポスターセッションから構成されます。今、産業界の関心事は何か、何を考えどう対応しようとしているか、最新の情報をお届けします。是非ご参加下さい。

開催日等詳細については大会Webサイトをご覧ください。尚、発表テーマは公募しておりませんが、発表ご希望の方は産業セッション事務局までお問い合わせ下さい。

シンポジウム「化学産業技術フォーラム」

本フォーラムで発表いただくことにより、発表企業にとって技術や製品の宣伝のみならずその存在感を示すことでビジネスへの発展が大いに期待できます。また企業イメージを学生に具体的かつ積極的に発信することができます。是非積極的にご発表下さい。

なお、シンポジウムの一部についてはテーマの公募を行います。詳細は大会Webサイトをご覧ください。

○参加・発表

「化学産業技術フォーラム」への参加・発表には、年会への参加登録が必要です(追加料金不要)。

○講演申込資格

年会要領に準じます。ただし、学生の発表はできません。

○講演の内容

- ・特許化したもの、企業化したもの、新聞発表したものも可とします。
- ・企業戦略、知的財産戦略などの関連から、「物質A、B、C」などによる発表も可とします。

○講演募集セッション、講演申込方法および締切、講演要旨原稿の作成要領、講演要領、等、詳細については大会Webサイトにてご確認ください。

国際シンポジウム | 英語セッション

全講演は英語で実施されるシンポジウムです。アジア国際賞受賞記念講演を含むセッションも予定されています。なお、全ての国際シンポジウムは年会内のセッションであるとともに、併催する国際会議 International Chemical Engineering Symposiaの一部となります。

国際会議「International Chemical Engineering Symposia」

年会に合わせ、国際会議 International Chemical Engineering Symposia が併催されます。年会での国際シンポジウムはこの国際会議の一部となります。一般講演も募集します。詳細については学会ホームページ等を通じて後日お知らせいたします。

問合せ先

化学工学会第87年会実行委員会
E-mail : inquiry-87a@www3.scej.org

人材育成センター

オンライン版「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計編 (第2回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年10月26日(火)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・ハイドロリックの設計基礎を学びたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(1~5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者

講習目標

本講座では、ハイドロリック設計に関するプロセス設計の基礎について、講義では演習問題を手計算で解きながら学び、さらに実習で理解を深められます。

受講のメリット

- (1)ハイドロリックの計算原理、圧力損失計算、配管サイズの決め方、ポンプの基礎を学べます。
- (2)本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(10月19日)を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (3)修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teamsを利用したオンラインで開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

オリエンテーション：10月19日(火)11:00~(最大でも12:00)

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加

第1日：10月26日(火)9:15~16:45

9. ハイドロリックの設計、設計演習

- 9.1 ハイドロリック設計の目的
- 9.2 ハイドロリック設計の手順
- 9.3 基本式を覚えよう
- 9.4 配管サイズの決め方
- 9.5 相当長と部品の圧損損失
- 9.6 ポンプを送り出す
- 9.7 流量を制御する
- 9.8 ハイドロリックの設計実習

※関数電卓は各自ご用意下さい。

講師 経験豊富なエンジニア

赤間貴朗氏(日揮グローバル(株)オイル&ガスプロジェクトカンパニー プロセステクノロジー本部プロセス技術部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には10ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に5ptを加算致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

募集定員 20名

申込締切 10月19日(火)9:00

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎割*>

11,000円(本体10,000円)

個人正会員 22,000円(本体20,000円)

維持会員/特別会員の社員

27,500円(本体25,000円)

地区会員の社員 33,000円(本体30,000円)

会員外 38,500円(本体35,000円)

*技士基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

※以下実習(参加費別途)の実施の有無は、新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮して判断致します。9章のオンライン講義を申し込んだ方には、実習の実施が確定した場合には、受付順に受講の希望をご確認致します。

なお、実施の最終判断は9月下旬に判断を下す計画です。(但し、実施を決定した場合でも「緊急事態宣言の再発」等の事態次第では、再度お断りをする可能性もございます)

《開催日・会場【条件付き開催】》

日時 11月2日(火)

場所 出光興産(株)技術研修センター
(TEL: 0436-61-7841)
〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸26(JR内房線「姉ヶ崎」駅下車徒歩10分)

受講のメリット

- (4)ベルヌーイ実証実験、流動実験、ポンプキャビテーション実験、水撃実験などの実習で学べます。
- (5)展示室のポンプ、コンプレッサー、制御弁、バルブのカットモデルを見学でき、その内部構造を学べます。

第2日：11月2日(火)8:55~16:20

10. ハイドロリック実習に先立って(9:00~9:10)

- 10.1 流量、流速の計測—ベルヌーイの定理の応用
- 10.2 ベルヌーイ実証実験
- 10.3 流動実験
- 10.4 ポンプキャビテーション実験
- 10.5 水撃実験

11. ハイドロリック実習(9:10~16:15)

- 11.1 ベルヌーイ実証実験
- 11.2 流動実験
- 11.3 ポンプキャビテーション実験
- 11.4 水撃実験

講師 経験豊富なエンジニア

小山義成氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

鶴島真由美氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

溝口高生氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

受講料(消費税10%込)

個人正会員 27,500円(本体25,000円)

維持会員/特別会員の社員

33,000円(本体30,000円)

地区会員の社員 38,500円(本体35,000円)

会員外 44,000円(本体40,000円)

オンライン版「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計編(第2回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年11月8日(月)、9日(火)、15日(月)、16日(火)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・塔・槽の設計基礎を学びたい方
- ・熱交換器の設計基礎を学びたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(1~5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者

講習目標

本講座では、塔・槽のサイジング、熱交換器の設計に関するプロセス設計の基礎について、演習問題を手計算で解きながら学んでいただきます。

受講のメリット

- (1)蒸留塔の構造、塔径計算、ドラムのサイジングを学べます。
- (2)熱交換器設計の基本を学べます。
- (3)本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(11月1日)を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4)修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teamsを利用したオンラインで、週2回(目安として、講義60分+休憩15分+講義60分+休憩15分+講義60分)のペースで2週間、計4回にわたり開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

オリエンテーション：11月1日(月)11:00~(最大でも12:00)

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC

必須)で参加下さい。

第1日: 11月8日(月)13:00~16:30

7. 塔・槽の設計, 設計演習

第2日: 11月9日(火)13:00~16:30

7. 塔・槽の設計, 設計演習

第3日: 11月15日(月)13:00~16:30

8. 熱交換器の設計, 設計演習

第4日: 11月16日(火)13:00~16:30

8. 熱交換器の設計, 設計演習

※関数電卓は各自ご用意下さい。

講師 経験豊富なエンジニア

白石 浩氏(日揮グローバル(株)オイル&ガスプロジェクトカンパニー プロセス技術部, 上席化学工学士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には, 最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また, 修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

募集定員 20名

受付締切 11月1日(月)9:00

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎割*>

22,000円(本体20,000円)

個人正会員 44,000円(本体40,000円)

維持会員/特別会員の社員

55,000円(本体50,000円)

地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)

会員外 77,000円(本体70,000円)

*技士基礎割は, 以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認, 更新して下さい)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか, 下記URLをブラウザに直接入力して頂き, 該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性, 蒸留計算 編(第1回)

主催 化学工学学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年12月2日(木)~3日(金)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化工物性, 蒸留計算の基本を学びたい方
- ・シミュレータの蒸留計算の原理を知りたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のあるエンジニア(2~10年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者

講習目標

本講座では, 物性及び物性推算について理解を深めた後, 蒸留の基本である気液平衡について学び, 理想系, 非理想系の気液平衡計算の手法を, 演習を通して理解していただきます。そして, 2成分系, 多成分系, 特殊な蒸留など蒸留塔の設計に必要な蒸留計算について, 演習問題を手計算で解きながら学んでいただきます。

受講のメリット

- (1) プロセス設計に使用する化工物性を理解できます。
- (2) 気液平衡について基礎, 非理想系の気液平衡, これらの推算式を理解できます。
- (3) 2成分系の蒸留計算, 多成分系の蒸留計算の原理を理解できるようになります。
- (4) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(11月26日)を実施し, 受講者の経験や受講目的などを把握し, 講義の参考と致します。
- (5) 修了レポートにより, 理解度を更に深められます。

講座内容

本講座は, Microsoft Teamsを利用したオンラインで, 目安として, 講義60分+休憩10分のペースで, 2日間連続で開催致します。オンライン開催になりますが, 一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお, 以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は, ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

オリエンテーション: 11月26日(金)13:10~13:40
(最大でも14:00)

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

※受講の際にはExcel(ゴールシーク, ソルバー機能)を使えるパソコンで受講して下さい。

第1日: 12月2日(木)9:30~17:10

1. プロセス設計と物性値
2. 気液平衡

第2日: 12月3日(金)9:30~17:10

3. 2成分系の蒸留計算
4. 多成分系の蒸留と特殊な蒸留

講師 経験豊富なエンジニア

澤井直明氏(日揮グローバル(株)オイル&ガスプロジェクトカンパニー プロセステクノロジー本部 プロセスエンジニアリング第2部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には, 最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また, 修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

募集定員 10名

受付締切 11月26日(金)9:00

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎割*>

22,000円(本体20,000円)

個人正会員 44,000円(本体40,000円)

維持会員/特別会員の社員

55,000円(本体50,000円)

地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)

会員外 77,000円(本体70,000円)

*技士基礎割は, 以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること(事前に自らの会員情報を確認, 更新して下さい)。
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡っていただくか, 下記URLをブラウザに直接入力して頂き, 該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

9/13(月)~15(水)に予定していた「P&IDの作り方」講座(4号会告11掲載)は, 11/10(水)~12(金)に日程を変更致しました。

9/29(水)~10/1(金)に予定していた「プロセス設計」講座 化工物性, 蒸留計算編(4号会告7掲載)は, 当初の対面開催を中止して, 内容を一部変更してオンラインで開催致しました。(詳細は本号に掲載)

10/4(月)に予定していた「仕様書の書き方~要求を正しく伝えるために~」講座(4号会告12掲載)は, 当初の対面開催を中止して, オンラインで開催致しました。

10/7(木)~8(金)に予定していた「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(4号会告10掲載)は, 諸事情を考慮した結果, 開催を中止致しました。

2021年度「化学工学技士」及び「化学工学技士(基礎)」試験日の延期について

2021年度化学工学技士試験は現在の新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を考慮して, 試験日を8/21(土)から10/30(土)に延期致しました。

◆延期後の試験日: 2021年10月30日(土)

2021年度化学工学技士(基礎)試験は現在の新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を考慮して, 試験日を9/11(土)から11/20(土)に延期致しました。

◆延期後の試験日: 2021年11月20日(土)

詳細はそれぞれのホームページをご確認下さい。

化学工学技士: https://service.kktcs.co.jp/smms2/license_entry/scej/824

化学工学技士(基礎): https://service.kktcs.co.jp/smms2/license_entry/scej/831

産学官連携センター

2021年度 開発型企業の会 第3回技術交流会開催案内

主催 化学工学会 産学官連携センター 開発型企業の会

日時 2021年10月20日(水) 14:00～16:00(懇親会は有りません)

会場 オンライン開催(録画は禁止しております)
見学場所 (国研)産業技術総合研究所 筑波事業所
〒305-8560 茨城県つくば市東1-1-1
つくば中央5-2

プログラム
今年度も、開発型企業の事業戦略と技術展開

に着目し、特集として見学会・技術講演会を開催していきます。今回は、NEDO戦略的技術革新プログラム「再構成可能なモジュール型の医薬品製造設備 iFactory[®]」に焦点を当て、中間成果として産総研に展示されている iFactory を構成する単位モジュール iCubeTM実機、用役配管ユニット iConnect、自動サンプリング&分析装置 On site On line HPLC の見学と説明会を行います。

「iFactory[®]」は、従来のバッチ製造に比べ約8割のエネルギー削減が見込めることを確認し、また、廃棄物では、従来比で3割～4割の削減が見込めることが明らかになりました。この検討結果もあわせてご紹介を頂きます。

14:00～14:05 開会挨拶
14:05 講演「フロー合成製造設備 iFactory[®]の技術説明と iCubeTM試験報告」(仮)

～16:00 見学「フロー合成製造設備 iFactory[®]用 iCubeTMの実機見学&解説」(仮)
(株) iFactory 代表取締役 ((株) 高砂ケミカル 会長) 齊藤隆夫氏

参加費 無料

定員 100名

申込締切 10月11日(月)

参加申込 お名前、勤務先/所属部署、連絡先(所在地、Tel/Fax、E-mail)をE-mailでお送りください。

なお、定員を超えた場合はお断りする場合があります。

連絡先 公益社団法人 化学工学会 開発型企業の会 事務局

E-mail : kaihatsugata@scej.org

国際交流センター

国際ワークショップ Women Scientists Working on Membranes

主催 山口地区化学工学懇話会、山口大学工学

部、化学プロセス強化研究教育推進体

詳細はホームページをご覧ください。

日時 2021年10月5日(火) 17:00～20:00

会場 オンライン

参加費 無料(事前登録必須)

部 会 C T

シンポジウム 次世代半導体の展望 ～原理と製造技術～

主催 化学工学会エレクトロニクス部会
協賛予定 電子SI連絡協議会(ESIC)、表面技術協会、エレクトロニクス実装学会(JIEP)、日本電子回路工業会(JPCA)、スマートプロセス学会(MSTE)、C-NET、よこはま高度実装技術コンソーシアム

日時 2021年12月7日(火) 13:00～18:00(入室12:30～)

会場 オンライン(ZOOM)。

プログラム タイトル・順番は暫定です。変更となる場合があります。

1. 基調講演 半導体開発の動向と次世代コンピュータ基盤戦略
2. EUV HVM status and the roadmap (EUVの量産状況とロードマップ)
3. シングルナノ世代のCMP技術
4. ウェハ乾燥技術の過去・現在・未来 次世代半導体実現への挑戦
5. ナノカーボンなどの低次元材料を用いた新構造高速デバイス
6. 自己組織化ヘテロ集積による3D精密実装

定員 300名。申込み順で、定員になり次第締め切ります。

参加費 事前に銀行振り込みをお願いします。請求書・領収書はPDFにて発行します。
・部会個人会員・法人会員 3,000円
・その他化学工学会会員及び協賛団体各会員

6,000円
・大学教員・研究員 2,000円(学生及び大学関係の部会員は無料)
・一般参加者 10,000円(同時に部会入会する場合は7,000円)

詳細

<http://www2.scej.org/elebukai/contents/04.html>

申込み方法 メールまたは上記URLから、以下の内容を明記の上送信ください。

メール記載内容：氏名、勤務先・住所(所属部署まで)、メールアドレス、電話番号、会員資格(上記参加費欄の区分を記載)

申込みメール送信・問い合わせ先

E-mail : electro_div@chemeng.osakafu-u.ac.jp

第27回流動化・粒子プロセッシング シンポジウム(FB27)

第16回反応装置・プロセス シンポジウム

講演・参加(オンライン)募集の ご案内

主催 化学工学会粒子・流体プロセス部会流動層分科会

共催 化学工学会反応工学部会触媒反応工学分科会

協賛 日本機械学会、粉体工学会、日本粉体工業技術協会、石炭エネルギーセンター、日本エネルギー学会、日本混相流学会、資源・素材学会、触媒学会、石油学会、

日本燃焼学会、日本流体力学会、日本セラミックス協会、廃棄物資源循環学会、日本薬学会、日本鉄鋼協会、日本計算工学会、ファイナパブル学会連合、新潟地方化学工学懇話会(依頼中を含む)

開催日時 2021年12月16日(木)、17日(金)

発表方式 Zoomによるオンライン発表

講演募集内容

本シンポジウムは流動層ならびに粒子(粉体)プロセッシングに関する技術的・学術的知識の交換と討論を目的とし、次の7分野に関連する講演を大募集いたします。討論を活性化させる内容であれば下記7分野以外の研究、既発表の研究、また企業での開発事業や実践的事例の紹介も大歓迎いたします。

講演はZoom ビデオウェビナーを用いたオンライン口頭発表のみで行い、学生の口頭発表に対しては優秀プレゼンテーション賞(複数)を贈呈しますので奮ってご応募ください。

1. 流動層に関連する工学・技術
2. 反応工学・プロセスシステム・エネルギー・環境
3. 粒子(粉体)プロセスの基礎と応用
4. 気泡・液滴・微粒子分散工学
5. 医薬品・バイオエンジニアリング
6. 数値シミュレーション
7. ナノテクノロジー

講演申込みについて

講演申込締切日：2021年11月26日(金)

23:50まで

以下の各項目について、シンポジウムHPからご登録ください。

- 1) 題名, 著者名, 著者の所属(和文)
- 2) 題名, 著者名, 著者の所属(英文)
- 3) 300字程度の和文要旨または200ワード程度の英文要旨
- 4) 代表者連絡先(郵便番号, 住所, 氏名, 電話, E-mail)
- 5) 発表希望分野
- 6) 会員種別・セッションの選択

講演原稿提出について

原稿提出の締切日: **2021年12月3日(金)**

23:50まで

原稿は和文または英文でA4用紙1~4ページとします。和文の場合には英文要旨をつけるとともに、図表とそれらのキャプションは英語で記述願います。原稿はシンポジウムHPよりダウンロードした原稿テンプレートを必ずご利用ください。

参加申し込みについて

参加申し込みはシンポジウムHPからお願いしますが、講演申込みをされた方も別途参加申込みが必要になりますのでご注意ください。

シンポジウム参加費について

会員種別	事前参加申込 11/26まで	11/27以降
主催・共催・協賛団体の正会員・法人会員・法人会員会社の社員	3,000円	5,000円
シニア会員	2,000円	3,000円
学生(会員・会員外)	2,000円	4,000円
会員外(学生を除く)	5,000円	7,000円

- ・シニア会員とは、もともと主催・共催・協賛の学会に所属しており現在は退職された方になります。
- ・上記金額は消費税込みの金額です。

・参加費には講演要旨集(紙媒体)は含まれておりませんが、学生セッションを設け、通常よりも短い時間での講演を実施する予定です。

発表形式について

発表はZoomビデオウェビナーによるオンライン口頭発表のみとし、ポスター発表は実施しませんが、学生セッションを設け、通常よりも短い時間での講演を実施する予定です。

オンライン発表ガイドラインについては後日シンポジウムHPにてご案内いたします。

その他

大会に関するお知らせ、プログラム等は順次シンポジウムHPにてご案内いたします。

問い合わせ先およびシンポジウムHP

第27回流動化・粒子プロセスシンポジウム事務局 清水忠明(新潟大学)

E-mail: tshimizu@eng.niigata-u.ac.jp

シンポジウムHP: <http://tshimizu.eng.niigata-u.ac.jp/fb27/fb27.htm>

地域 C T



北海道支部

第23回化学工学北海道アカシアセミナー(懇話会第164回講演会)「北海道産業活性化のカギを探せ！」

- 主催 (公社)化学工学北海道支部, 化学工学北海道懇話会
 共催 (公社)化学工学地域CT, (公社)化学工学学会会員増強委員会
 協賛 (一社)北海道機械工業会
 後援 北海道総合政策部科学技術振興課, 北海道中小企業家同友会, R&Bパーク札幌大通サテライト, 苫小牧市(苫小牧市テクノセンター), (公財)室蘭テクノセンター, 特定非営利活動法人北海道産業技術支援協会
 協力 経済産業省北海道経済産業局

北海道の産業活動を活性化するための課題の一つとして、ニーズ・シーズのマッチングできていないことが挙げられます。これはニーズ・シーズはあるものの、その伝え方に課題があると考えられます。そこで、マッチングのプロである技術コーディネーターにお話しいただきます。マッチングを行うにあたり、コーディネーターがどのような情報を必要としているのか、どのように伝えれば良いのかを知ることで円滑なマッチングが進み、北海道産業活性化に繋がると考え、本セミナーを企画しました。また、ニーズ・シーズ・マッチング事例についてもお話しいただきます。本セミナーをきっかけに新たなマッチングが創生できるよう会員以外の一般の方々も含め、多くの方々の御参加をお待ち申し上げます。

日時 2021年11月12日(金)13:10~17:05
17:05~18:00 オンライン情報交換会(予定)

場所 オンライン開催

《プログラム》

- 13:10~13:15 開会挨拶
北海道大学 教授 (化学工学学会北海道支部 支部長)向井 紳 氏
- 13:15~13:45 講演1
NPO法人北海道産業技術支援協会 代表理事 尾谷 賢 氏
- 13:45~14:15 講演2
丸共バイオフーズ(株) 執行役員所長 堤 尚信 氏
- 14:15~14:45 講演3
(株)平塚建具製作所 代表取締役会長 平塚勝也 氏
- 14:45~15:15 講演4
北海道立工業技術センター 研究開発部長 小西靖之 氏
- 15:30~16:00 講演5
環境大善(株) 研究員 加藤勇太 氏
- 16:00~16:30 講演6
(公財)室蘭テクノセンター 特任アドバイザー 安澤典男 氏
- 16:30~17:00 講演7
北海道経済産業局 産業技術革新課 椎山真澄 氏
- 17:00~17:05 閉会挨拶
北見工業大学 教授 (化学工学学会北海道支部 副支部長) 小西正朗 氏
- 17:05~18:00 オンライン情報交換会(予定)

参加費 無料(会員資格不問)

参加申込 参加御希望の方は、11月9日(火)までに化学工学学会北海道支部ホームページよりお申込み下さい。

北海道支部ホームページ: <http://www2.scej.org/hokkaido/>

問合せ先 化学工学学会 北海道支部事務局 中坂 佑太

E-mail: scejh19@eng.hokudai.ac.jp

FAX: 011-706-6552



関東支部

第25回基礎化学工学講習会

- 主催 公益社団法人化学工学学会関東支部
 協賛 公益社団法人日本化学会, 一般社団法人日本エネルギー学会

企業で既に活躍されている技術者の方々、あるいは化学系企業に入社されたばかりの方々の化学工学の基礎知識の向上・考え方の構築を図るため、産業界の強い要請に応え「第25回基礎化学工学講習会」を昨年に引き続き以下のように開催いたします。本講習会では「基礎的な考え方」と「演習」に重点を置き、大学・工専・高専で学ばれた知識を発展、整理して頂く機会になるよう、さらに改善を進めております。研究開発・設計・製造現場など、化学工学の考え方を必要とする若手技術者、知識のリフレッシュをしたいと考えている方々を対象とします。

大学と企業から選ばれた講師が、自ら精選したとれた教科書を基に、実務的な視点を加味し、講義と演習を組み合わせ、理論と実践とを丁寧に解説いたします。「化学工学の基礎」、「流体工学」、「熱工学」、「平衡分離」、「反応工学」、「分離操作」をテーマに、合計6日間の講習を致します。精勤者には、本講演会にて使用した教科書の演習問題の「解答集(非売品)」を贈呈いたします。特に人事をご担当の部署におられる方々におかれましては、今後とも毎年継続的に実施してまいりますので、是非人材育成の一環としてお考え頂ければ幸いです。

日時 2021年10月18・19日(月・火)25・26日(月・火)11月1・2日(月・火)9:30~17:00

場所 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館(N棟1階)第2会議室
アクセス: 東京メトロ副都心線 西早稲田駅直結, または, JR/東京メトロ東西線/西武新宿線 高田馬場駅下車徒歩15分
<https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>

時間割 全日共通
 9:30～9:40 開会の挨拶・概要説明（第1日目のみ）
 1限 9:40～11:10 講義基礎①－じっくり基礎事項を学ぶ（大学側講師）
 2限 11:20～12:50 講義基礎②－同上（大学側講師）
 昼食
 3限 13:50～15:20 演習－基礎に基づく実践演習（企業側講師）
 4a限 15:30～16:30 講義応用－応用・発展的な事項を解説（大学側講師）
 4b限 16:30～17:00 演習解説－演習の解説、実践事例（企業側講師）
 17:00～17:15 閉会式（最終日のみ）

プログラム
第1日目 10/18(月)「化学工学の基礎」
 1限 単位と次元、収支論の基礎
 2限 移動速度論の基礎
 4a限 相似則と無次元数（東京農工大学）桜井 誠氏
 3, 4b限 演習及び解説（千代田化工建設(株)）東村 達氏
第2日目 10/19(火)「流体工学の基礎」
 1限 運動量移動、レイノルズ数
 2限 円管内流動、エネルギー収支、配管内の圧力損失、計測
 4a限 境界層の考え方、乱流（東京工業大学）吉川史郎氏
 3, 4b限 演習及び解説（広栄化学工業(株)）佐藤秀樹氏
第3日目 10/25(月)「熱工学の基礎」
 1限 熱移動過程、抵抗の分離、総括移動抵抗
 2限 対流伝熱(主に円管内)
 4a限 放射伝熱、熱交換操作（東京工業大学）森 伸介氏
 3, 4b限 演習及び解説（三井化学(株)）遠藤淳史氏
第4日目 10/26(火)「反応工学の基礎」
 1限 化学反応と反応速度
 2限 均一反応装置の特徴、解析と設計
 4a限 気－固反応系、触媒反応（東京工業大学）大友順一郎氏
 3, 4b限 演習及び解説（三菱ケミカル(株)）加納 誠氏
第5日目 11/1(月)「分離工学Ⅰ－平衡分離－」
 1限 平衡の概念
 2限 蒸留と収支
 4a限 抽出（日本大学）栗原清文氏
 3, 4b限 演習及び解説（元月島環境エンジニアリング(株)）小島照博氏
第6日目 11/2(火)「分離工学Ⅱ－分離操作－」
 1限 移動過程、抵抗分離、総括抵抗
 2限 吸収、膜分離
 4a限 種々の膜分離プロセス、反応吸収（元東京工業大学）伊東 章氏
 3, 4b限 演習及び解説（(財)金属系材料研究開発センター）松尾充高氏

修了証 精勤者全員に授与します。
優秀賞 演習の成績優秀上位者を表彰します。
持参品 筆記用具、関数電卓をご持参下さい。
募集人員 30名(定員になり次第締め切ります)
参加費 化学工学会・協賛学会正会員：6日間参加40,000円、単日参加12,000円/日
 化学工学会・協賛学会法人会員の社員：6日間参加60,000円、単日参加18,000円/日
 会員外：6日間参加80,000円、単日参加24,000円/日
 (1社3名以上でのお申し込み時、1名につき6日間参加10,000円引き、単日参加3,000円引き)
 学生会員：6日間参加20,000円、単日参加5,000円

円/日
 ※6日間参加の場合、一部の日程を代理出席されても結構です。
 ※それぞれの参加費には教科書1冊・資料代・消費税を含みます。
支払方法 受付後、参加証と共に送付する振替用紙にて事前にお振り込み下さい。
 当日会場での現金支払いも可能ですが、当日になってのキャンセルの場合も参加費のご請求をさせていただきます。
申込方法
 ・Web申込み
 関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>) の次回行事開催のご案内の「第25回基礎化学工学講習会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウインドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。
 ・FAX、E-mailによる申込み
 下記関東支部事務局宛、チラシの申込書又は申込書相当の必要事項ご記入の上お送りください。
申込先 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内
 公益社団法人 化学工学会 関東支部
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
 E-mail: info@scej-kt.org
 HP: <http://www.scej-kt.org>

第27回回の技術・見学講演会 「アンモニアをコアとした最近の窒素循環技術の講演・見学会」

主催 (公社)化学工学会 関東支部
共催 沼津工業高等専門学校グリーンアンモニア研究センター
協賛 (予定) (公社)化学工学会 エネルギー部会・反応工学会部会・環境部会・分離プロセス部会・開発型企業の会、(公社)石油学会、(公社)日本冷凍空調学会、(公社)日本化学会、(公社)日本畜産学会、(一社)クリーン燃料アンモニア協会、(一社)日本燃焼学会、(一社)触媒学会、(一社)日本エネルギー学会、(一社)水素エネルギー協会、日本環境学会、日本養豚学会

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、水素エネルギーキャリアとしてのアンモニアの製造・利用技術の開発と実用化が活発化しています。また、産業・生活活動によって発生する窒素化合物の増加が環境汚染の深刻な問題となっており、窒素化合物の回収・資源化技術の開発も脚光を浴び始めています。そこでCool EarthとClean Earthを目指した「窒素循環」という観点から、本見学講演会では、アンモニアの合成、利用、回収に関する最新の研究や技術開発をご紹介いただく講演会をオンラインで開催します。また、講演で紹介いただいた事例に関する装置やシステムなどの動画をオンラインで紹介する見学会も併せて開催します。

日時 2021年11月16日(火) 13:00～16:55 ※閉会后WEB名刺交換会を設けます。
開催方式 オンラインで開催いたします。詳細はお申し込み後にご案内いたします。

プログラム
 13:00～13:05 開会の挨拶（関東支部 第一企画委員長/東京工業大学）大友順一郎
 13:05～14:40 講演1 再生可能エネルギー水素を用いた新しいアンモニア合成システム（沼津工業高等専門学校）秋鹿研一氏

見学(14:05～14:40)高圧アンモニア合成試験装置（沼津工業高等専門学校）稲津晃司氏
 14:40～14:50 休憩
 14:50～15:50 講演2 液体アンモニア直接噴霧燃焼ガスタービンの開発（(株)IHI）内田正宏氏
 15:50～16:50 講演3 プルシアンブルー類似体を用いた養豚場施設からのアンモニア吸着除去技術（産業技術総合研究所）南 公隆氏
 見学(16:35～16:50)養豚場施設での実証試験設備
 16:50～16:55 閉会の挨拶
 17:00～17:45 名刺交換会

定員 50名(定員になり次第締め切らせていただきます)
参加費 正会員9,000円、法人会員・協賛団体会員11,000円、学生会員2,000円、会員外15,000円、サロメンバー5,000円。尚、それぞれの参加費にはテキスト代・消費税が含まれます。
支払方法 受付後、参加証と共に送付する振替用紙にて事前にお振り込みください。当日になってのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。
申込方法 11月9日(火)までにWebまたはFAX、E-mailにてお申し込みください。

・Web申込み
 関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>) の次回行事開催一覧の「第27回回の技術見学・講演会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウインドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。
 ・FAX、E-mailによる申込み
 下記関東支部事務局宛、「第27回回の技術見学・講演会」と明記し、会社・学校名、参加者名、所属部署、郵便番号、住所、電話、FAX番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。
申込先 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内
 公益社団法人 化学工学会 関東支部事務局
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
 E-mail: info@scej-kt.org

東海支部

第55回 化学工学の進歩講習会 「脱炭素への工学」

主催 化学工学会東海支部
共催 (予定) 名古屋大学未来社会創造機構マテリアルイノベーション研究所、資源・素材学会、触媒学会、石油学会、東海化学工業会、日本LCA学会、日本化学会東海支部、日本機械学会東海支部、日本セラミックス協会東海支部、日本鉄鋼協会東海支部、日本金属学会東海支部、日本粉体工業技術協会、日本油化学会東海支部、日本エネルギー学会、日本レオロジー学会、廃棄物資源循環学会、粉体工学会、分離技術会、レアメタル資源再生技術研究会

協賛 (予定) 中部科学技術センター、化学工学会超臨界流体部会、化学工学会分離プロセス部会、化学工学会材料・界面部会、化学工学会環境部会、化学工学会化学装置材料部会、化学工学会粒子・流体プロセス部会、化学工学会熱工学部会、化学工学会反応工学会部会、化学工学会安全部

会, 化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会, 静岡化学工学懇話会, 共晶会, 健友会, 名材会, 日本溶剤リサイクル工業会, 化学工学会エネルギー部会, 科学技術交流財団 再生可能エネルギーからの水素製造・利用関連技術研究会

日時 2021年12月15日(水), 16日(木)
場所 名古屋大学 野依記念学術交流館(名古屋
市千種区不老町, <http://www.rcms.nagoya-u.ac.jp/access.html>)
Zoom ウェビナーを利用したオンライン参加も同時に受け付けます。
交通 地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車 3番出口より徒歩5分

2020年脱炭素化への道は険しい。脱炭素技術の覇権をめぐる開発競争, 自国優先の思惑も反映した制度設計が各国で進む。本講習会では, 脱炭素化技術分野の第一線で活躍する産学の気鋭の研究者が, CO₂の分離回収, 再生可能エネルギー, 水素, アンモニア, CO₂有効利用技術, そして, 脱炭素化に向けたアクションについて講演します。

第1日目 12月15日(水)

0. 開会の辞(9:00~9:05)
(名古屋大学)則永行庸氏
1. 脱炭素社会実現に向けた技術展開と課題(9:05~9:55)
(東京大学)甘蔗寂樹氏
2. CO₂の分離, 回収技術
2.1 化学・物理吸収法によるCO₂分離回収(10:00~10:55)
(名古屋大学)町田 洋氏
2.2 吸着・固体吸収法によるCO₂分離回収(11:00~11:55)
(名古屋大学)藤木淳平氏
2.3 大規模PSAシステムを目指した高炉ガスからのCO₂分離回収技術開発(13:00~13:55)
(JFE スチール)紫垣伸行氏
2.4 冷熱を利用したCO₂回収の新技術(14:00~14:55)
(名古屋大学)則永行庸氏
3. 再生可能エネルギーと炭素フリー燃料
3.1 太陽電池の技術動向(15:00~15:55)
(名古屋大学)宇佐美徳隆氏
3.2 なぜ世界では風力発電の大量導入が進むのか?(16:00~16:55)
(京都大学)安田 陽氏

第2日目 12月16日(木)

- 3.3 大規模水素輸送システムのエクセルギー解析(9:00~9:55)
(北海道大学)能村貴宏氏
3.4 アンモニア合成触媒の新展開(10:00~10:55)
(名古屋大学)永岡勝俊氏
3.5 アンモニア混焼(11:00~11:55)
(北海道大学)橋本 望氏
4. CO₂利用技術
4.1 メタネーション触媒反応器の実験手法と数値流体解析(13:00-13:55)
(名古屋大学)福本一生氏
4.2 CO₂を利用した再生可能エネルギーの燃料化技術(14:00~14:55)
(日立造船)泉屋宏一氏
4.3 メタネーション事業化への追い風と向かい風(15:00~15:55)
(INPEX)若山 樹氏
5. パネルディスカッション: 脱炭素化へのアクション(16:00~17:15)
各パネリストからのご講演後, 脱炭素化へ向けた問題点や打開策について議論する。

- 5.1 脱炭素化に向け我が国独自の新しいエネルギーシステムを考える
(エネルギー総合工学研究所)橋崎克維氏
5.2 脱炭素シナリオ: 経済的・社会的含意
(東京大学)杉山昌広氏
5.3 再生可能エネルギー開発における社会的摩擦と社会的受容
(名古屋経済大学)本巢芽美氏
5.4 脱炭素に向けた新エネルギー工学・技術の展望
(九州大学)林潤一郎氏
6. 閉会の辞(17:15~17:20)
(静岡大学)福原長寿氏
*プログラムの詳細は, 化学工学会東海支部ホームページ<<http://scej-tokai.org>>をご覧ください。

定員 160名(会場定員: 80名, Zoom ウェビナー定員: 80名)

*ビデオ会議ツール「Zoom ウェビナー」ライブ配信での参加の場合の推奨環境については, 当該ツールをご参照ください。Zoom ウェビナーで参加の方には申し込み締め切り後, 視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。注意事項は, 別途参加申込者に連絡されるメールよりご確認ください。
※会場参加者にはメールにて参加証をお送りいたします。参加証は当日ご持参ください。

テキスト 「脱炭素への工学」化学工学会編
*ビデオ会議ツール「Zoom ウェビナー」参加者のテキストは開催後郵送いたします。

参加費 (テキスト代・消費税を含む)
化学工学会正会員: 30,000円, 化学工学会法人会員社員/共催・協賛団体(個人・法人)会員: 35,000円, 化学工学会学生会員/共催・協賛団体学生会員: 5,000円, 会員外: 70,000円

送金方法 現金書留, 銀行振込または郵便振替(ゆうちょ銀行)

銀行振込: みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No. 1055521 公益社団法人化学工学会東海支部
郵便振替: 名古屋00880-7-5640 公益社団法人化学工学会東海支部

申込期限 2021年11月30日(火)

申込方法 下記ホームページ「進歩講習会」にアクセスし, 「参加申込フォーム」にてお申し込みください。
<http://scej-tokai.org/>

問合せ先 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内
公益社団法人化学工学会東海支部
TEL: 080-4525-3070

第8回 初歩からの化学工学 数学演習講座 ～データ解析および 時系列データ分析の基礎～

主催 (公社)化学工学会東海支部
共催 (予定) 静岡化学工学懇話会, 東海化学工業会, (公社)日本分析化学会中部支部, (公社)日本化学会東海支部, (一社)資源・素材学会, (公社)高分子学会東海支部, (一社)日本原子力学会中部支部, (一社)廃棄物資源循環学会, 日本溶剤リサイクル工業会, 日本機械学会東海支部, (一社)日本エネルギー学会, (一社)日本鉄鋼協会東海支部, (公社)化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会
協賛 (予定) (公社)日本水環境学会, 電気学会東海支部, 粉体工学会, (公財)中部科学技術センター, 電気化学会東海支部, 有機合成化学協会東海支部

化学工学会東海支部では, 反応・分離・輸送・エネルギー・環境・材料などに関する講座を開講し, 製造現場, 研究・開発に関わる人材の育成を目指しています。本講座では「データ解析および時系列データ分析の基礎」について事例を紹介しながらわかりやすく解説し, 実験データやプロセスデータの整理・解析・予測のテクニックを習得することを目的とします。

データ解析には, 統計手法を用いた数量化(統計解析, 回帰分析)や多変量解析, 数理モデルによるデータの2次加工などの知識が必要です。また, プラントの時系列データの分析は, プラントや補機の異常や劣化の予知などに利用できる可能性があります。

企業におかれましては, 研究者のみならず生産管理や運転管理に関わる方々のスキルアップの機会としてご利用いただければ幸いです。

本年度もコロナ禍を考慮し, オンデマンド配信(音声付きスライド)による講義で実施します。

配信期間 2021年11月12日(金)10:00~12月10日(金)17:00

配信期間中は何回でも視聴できます。講義資料(音声なしのpdfファイル)はE-mailで配信します。質問は, 配信期間中, E-mailで随時受け付けます。

プログラム

<第一部>講師: 岐阜大学大学院工学研究科准教授 小林信介

1. 数量化の基礎(約60分)
実測定した物理量をもとに統計解析や回帰分析をする際の基礎的事項を解説した後, 市販ソフトウェアを使った事例(手順)を解説します。

2. 多変量解析法入門(約60分)
物質, 熱, 運動量の移動現象や化学反応に関わるプロセスデータを解析するための数学モデル(二次データ加工)について解説したうえで, 重回帰分析と次元解析のテクニックについて, 市販ソフトウェアを使った事例を紹介いたします。

<第二部>講師: 岐阜大学大学院工学研究科教授 神原信志

3. 時系列重回帰分析入門(約60分)
時系列重回帰分析のテクニックについて, 市販ソフトウェア(Excel)を使った事例を紹介いたします。

4. 時系列データ分析の進歩(約60分)
時系列データ分析は, 自己回帰モデルなどの数理モデルを使用する方法やマシニングを利用する方法があります。これらの手法の概要と事例を紹介いたします。

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし, 「参加申込フォーム」からお申込み下さい。
<http://scej-tokai.org/>

聴講費(資料代・消費税を含む)

	第一部または第二部のいずれか	第一部と第二部
正会員	6,000円	10,000円
法人会員	10,000円	15,000円
会員外	20,000円	30,000円
学生	2,500円	5,000円

*共催・協賛団体会員も本会会員価格に準じます。

送金方法 現金書留または銀行振込
みずほ銀行 名古屋支店

普通預金 No.1055521

「公益社団法人化学工学会東海支部」

ゆうちょ銀行 名古屋00880-7-5640

「公益社団法人化学工学会東海支部」

申込・送金の期限 2021年12月3日(金)を申込および送金の最終期限とします。

受講方法 申込・送金を確認できた後、受講手順と講義資料をE-mailで配信します。Webを閲覧できるデバイスで受講してください。

*詳細は、化学工学会東海支部ホームページにて掲載いたします。

問合せ先 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町名古屋工業大学生命・応用科学科 化学工学研究室内

(公社)化学工学会東海支部

TEL : 080-4525-3070

http://scej-tokai.org/

第14回ChETシンポジウム

主催 化学工学会東海支部ChET(東海支部学生会の会)

共催 化学工学会東海支部 未来の化学工学を創る会

本シンポジウムでは、化学工学を専攻している学生がどのような業界、職種で活躍しているのかを知り、視野を広げてもらうことを目的に、企業から若手技術者をお招きし、仕事の紹介をしていただくとともに、仕事への姿勢、勉学の大切さ、社会人としての心構え等をお話していただきます。特に、化学工学を専門とする学生に特化した企業情報や将来のキャリアに関するアドバイスを得ることで、今後の勉学への取り組みに役立ててもらおうことを期待しています。

開催日時 2021年11月9日(火)13:20~17:00頃まで

開催形式 オンライン開催

プログラム

13:20~13:25 開会挨拶

13:25~14:35 企業からのプレゼンテーション(各社10分程度の講演)

- ・東亜合成(株) 野口素子氏
- ・(株)ノリタケカンパニーリミテド 藤田修平氏
- ・日本ガイシ(株) 小野駿平氏
- ・KHネオケム(株) 佐藤義将氏
- ・JSR(株) 大矢康太氏
- ・リンナイ(株) 松浦伸悟氏

14:35~14:50 休憩

14:50~16:55 サロン交流

参加申込時に募集した若手技術者への質問や、リアルタイムでの挙手およびチャット形式の質問による若手技術者との交流を通じて、勉学や研究、就職に関する知識の共有を図ります。

16:55~17:00 閉会挨拶

参加申込に際して

・当シンポジウムは、Web会議システムMicrosoft Teamsを利用してオンライン形式で開催します。

・講演会の当日、事前に参加申込いただいた方に、接続先の情報をメールでご連絡します。メール本文中に記載されたURLをクリックしてご参加ください。URLをクリックしますと、通常はお使いのWebブラウザが起動し、Teamsの画面が表示されますが、無料版Teamsアプリ(<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/microsoft-teams/free>)の利用もご検討ください。接続環境については、事前の十分なご

確認をお願いいたします。また、そのURLを他の方に転送することはご遠慮ください。

- ・視聴中の録画や録音などは、固く禁止いたします。
- ・当シンポジウムは参加無料ですが、事前にお申し込みいただいた方への視聴に限定いたします。

申し込み先・問い合わせ先

「氏名」「大学名」「研究室名」「学年」「若手技術者にぜひ聞いてみたいこと(複数でも構いません)」を明記の上、2021年11月2日(火)までに、以下の宛て先にメールでお申し込みください。

岐阜大学大学院自然科学技術研究科 物質・ものづくり工学専攻 博士前期課程2年 粥川裕太

E-mail : z4524028@edu.gifu-u.ac.jp

岐阜大学高等研究院 近江靖則

E-mail : oumi@gifu-u.ac.jp

関西支部

先端技術を支える単位操作シリーズ 膜材料・膜分離の最前線 〈オンライン配信〉

主催 化学工学会関西支部

協賛 近畿化学協会、高分子学会関西支部、日本化学会近畿支部、日本機械学会関西支部、分離技術会、有機合成化学協会関西支部

日時 2021年11月29日(月)13:00~17:10

開催形式 オンライン配信(Zoom利用)

プログラム〈質疑応答時間含む〉

1. 神戸大学先端膜工学研究センターにおける膜工学研究紹介(13:00~13:50)
(神戸大先端膜工学研究セ)松山秀人氏
2. 耐ファウリング性RO膜の調製とスパイラル型膜モジュールの機能(13:55~14:45)
(信州大学鋭領域融合研究群)遠藤守信氏
3. 耐有機溶剤性中空糸膜の開発(14:50~15:30)
(ユニチカ)小野貴博氏
4. 高性能水処理膜の研究・開発(15:35~16:15)
(東レ)花田茂久氏
5. 低コストの二酸化炭素回収膜技術を構築する(16:20~17:10)
(京大物質・細胞統合システム拠点) Easan Sivaniyah氏

申込締切 11月19日(金) ただし定員(90名)になり次第締切

参加費 主催・協賛団体個人正会員 14,000円、主催・協賛団体所属法人会員 16,000円、大学・公設機関 7,000円、学生会員 3,000円、会員外学生 5,000円、会員外 29,000円(テキスト代・消費税込)

申込方法 Web上参加申込フォーム(<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=29686>)よりお申し込みください。参加費は、銀行振込[りそな銀行御堂筋支店 普通預金No.0405228 名義 公益社団法人化学工学会関西支部]をご利用ください。

*参加費は「主催・協賛団体の支部以外」にご所属の場合でも「主催・協賛団体」としてお取扱いいたします。

連絡事項

- ・オンライン配信ツールは「Zoom」を利用します。Zoomアプリのダウンロード、Webブラウザでご参加が可能です。Zoomのアカウントを作る必要はありません。
- ・本講演は全てライブ配信となりますので、開

催日時のお間違いの無いようにご注意ください。

- ・参加申込をされた方には、11月24日頃にE-mailにてZoomの接続情報等を送付します。
 - ・パソコン・タブレット等、聴講(受信)に必要な機材や設備は各自でご準備ください。
 - ・発表者の許可の無い限り、受信資料の保存(録音・録画)、再配布は固く禁止します。
- 問合せ・申込先 (公社)化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685
E-mail : apply@kansai-scej.org

化学工学会関西大会2021 〈オンライン〉開催案内 (講演・参加募集)

主催 化学工学会関西支部

共催 化学工学会中国・四国支部、

協賛 近畿化学協会、播磨産業懇話会、北陸化学工学懇話会<予定>ほか

日時 2021年12月14日(火)~15日(水)

開催形式 オンライン形式(Zoom)

講演申込期間 2021年9月13日(月)~10月15日(金)

要旨原稿受付 2021年10月1日(金)~10月31日(日)

事前参加申込 2021年10月18日(月)~11月26日(金)

参加申込締切 2021年12月7日(火)

大会Webサイト : <http://www3.scej.org/meeting/ks2021/>

シンポジウム「脱炭素社会に向けてカーボンリサイクルを広げるために」

[口頭発表のみ、一般公募無し、12/14開催]

オーガナイザー：太田智久(タクマ)

脱炭素社会に向けて、燃焼に伴い発生するCO₂の捕集・分離・回収・再利用について様々な検討が行われている。CO₂の捕集・分離・回収を広げるためには回収したCO₂の利用拡大が不可欠である。ここではCO₂の工業的利用拡大を目指すカーボンリサイクル技術について、化成品、燃料、鉱物の分野から4名の研究者にご講演をいただきます。皆様からも活発な議論を期待します。

講演者：交渉中

環境エネルギーシンポジウム

[口頭発表のみ、一般公募有り]

オーガナイザー：鈴木 洋(神戸大)

超低炭素社会を目指す我が国において、環境およびエネルギー問題は化学工学が取り組むべき重要な課題です。本シンポジウムは化学工学会関西支部環境&資源エネルギー研究会が主催します。関連する先進的な技術を開発している研究者を招待してご講演いただくとともに、環境およびエネルギー問題に関連したご講演を一般募集いたします。環境エネルギー問題に取り組む若手研究者や、産業界の研究者の活発な議論を期待します。

企業紹介

[口頭発表のみ、一般公募有り]

オーガナイザー：荻野博康(阪府大)、西村 徹(花王)

化学工学を学んだ学生に化学工学関連企業を紹介するセッションを設けます。29分以内に、学生を対象とした企業説明をお願いします。企業紹介を希望される化学工学会員企業は、10月15日までに、問合せ先にメールで申し込みください。希望企業が多い場合、早期に締め切ることがあります。

インターナショナルセッション

[口頭発表(英語)のみ、一般公募有り]

オーガナイザー：佐野紀彰(京大)

英語による発表とします。基調講演では、日本留学経験のある海外の講演者から今後活躍する留学生へのアドバイスを含めた講演を予定しています。留学生や今後国際的に活躍してゆこうとする学生からの活発な発表を期待します。

一般研究発表

[口頭発表のみ、一般公募有り]

オーガナイザー：安田昌弘(阪府大)

化学工学会「関西大会2021」では、化学工学会の基盤研究で、年会や秋季大会と同様の分類での一般研究発表会を開催します。一般研究発表はすべて口頭発表とします。口頭発表の発表時間は15分、質疑4分、交代1分です。口頭発表にオンラインで参加するPCは各自ご用意ください。また、優れた発表を行った学生を表彰します。

特別講演会

日時：12月14日(火)夕刻

「スーパーコンピュータ「富岳」への期待(仮)」

(国研)理化学研究所計算科学研究センター調査役・広報ディレクター 辛木哲夫氏

講演申込方法

受付期間：9月13日(月)～10月15日(金)

関西大会2021ホームページ内の「講演申込ページ」から、指定された必要事項を記入してお申し込みください。

講演要旨原稿

受付期間：10月1日(金)～10月31日(日)

提出方法は年会・秋季大会に準じますが、詳細は関西大会2021ホームページでご確認ください。

※要旨集は発行しませんので、各自で大会ホームページよりダウンロードしてください。

参加申込

受付期間：10月18日(月)～12月7日(火)

関西大会2021ホームページ内の参加登録ページをご覧のうえ、個人ごとにお申し込みください。参加費のお支払いは銀行振込のみとさせていただきますので、ご了承のほどをお願いいたします。

一度ご入金頂きますと、理由の如何を問わず返金できませんので、ご注意ください。

また、12/8以降(開催期間中を含む)のお申込みは受け付けませんので、ご了承ください。

大会参加費(税込み)	11/26まで	11/27～12/7まで
一般会員*	7,000円	8,000円
学生会員**	2,000円	3,000円
会員外(一般)	13,000円	14,000円
会員外(学生)	3,000円	4,000円

*「一般会員」価格は、化学工学会の正会員、法人

会員、部会特別会員、部会賛助会員、懇話会会員、ならびに協賛団体会員に適用します。

**「学生会員」価格は、化学工学会の学生会員、部会学生会員に適用します。

その他詳細は大会webサイト

<http://www3.scej.org/meeting/ks2021/>を参照ください。

問合せ先

化学工学会関西大会2021実行委員会
(化学工学会関西支部内)

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4

大阪科学技術センター6階

TEL：06-6441-5531 FAX：06-6443-6685

E-mail：inquiry-ks2021@www3.scej.org



中国四国支部

2021年度セミナー 「中国四国地区の化学産業における低炭素化の取り組み」

主催 中国地区化学工学懇話会、広島大学フェニックス協力会

地球温暖化問題は現在世界中で最大の課題の一つであり、欧州、米国、中国において、昨年、今年と脱炭素化に対する大きな動きがありました。日本においても、現首相の所信表明演説にて、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を掲げており、今後様々な政策や技術革新が進み、社会情勢の変化が加速することが予想されます。一方、中国四国地区では古くから化学産業、石油化学工業、製鉄業が盛んですが、これらの産業から排出される二酸化炭素排出量は非常に多く、排出量全体に占める割合も大きいことが知られており、排出削減のための代替手段の開発が望まれています。そこで本セミナーでは、中国四国地区の化学産業における低炭素化の取り組みや最先端技術に着目した最新動向をご紹介します。技術討論の場をご提供いたします。

日時 2021年11月26日(金) 13:00～17:00

場所 オンライン(Microsoft Teams)

プログラム

主催者挨拶(13:00～13:05)

広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授

都留稔了氏

[講演]

基調講演

(13:05～13:55) 瀬戸内カーボンリサイクルコンピナートおよび要素研究

広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
市川貴之氏

依頼講演

1) (13:55～14:35) カーボンニュートラル実現に向けたグリーン成長戦略

中国経済産業局 地域経済部

自動車関連産業室長 平山智康氏

2) (14:35～15:15) 自動車用パワートランスミッションの進化と低炭素化への取り組み

マツダ(株)技術研究所 山本寿英氏

《15:15～15:25 休憩》

3) (15:25～16:05) セメント製造と化学工業の融合によるカーボンニュートラルの促進

東京大学大学院総合文化研究科

国際環境学教育機構 准教授 甘蔗寂樹氏

4) (16:05～16:45) CCUSのためのCO₂分離回収技術の開発動向

(公財)地球環境産業技術研究機構(RITE)

化学研究グループ 主任研究員 甲斐照彦氏

セミナー閉会挨拶(16:45～16:50)

定員 200名

参加費(消費税込)

中国地区化学工学懇話会会員、広島大学フェニックス協力会会員：無料

非会員：3,000円

申込方法 参加者氏名、会員・非会員の区別、勤務先、所属、連絡先(住所、電話、FAX、E-mail)、送金予定日、を明記し、電子メールまたはFAXでお申込み下さい。参加費のお支払いは、現金書留または銀行振込(もみじ銀行西条支店普通預金1058275中国地区化学工学懇話会)をご利用下さい。

申込締切 2021年11月12日(金)

申込先(問合せ先) 〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1

広島大学工学部化学工学講座内 中国地区化学工学懇話会事務局

TEL：082-424-7718 FAX：082-424-5494

E-mail：ysasa@hiroshima-u.ac.jp

中国地区化学工学懇話会ホームページ

<https://konwakai.hiroshima-u.ac.jp/>

求人

☆東京工業大学 科学技術創成研究院 教授募集☆

募集人員：1名
専門分野：ゼロカーボンエネルギー技術またはシステムに関連する分野
応募資格：博士の学位もしくはそれに相当する能力を有し、上記専門分野において先導的かつ国際的な研究実績があり、新しい分野を積極的に開拓できる方
応募締切：2021年10月15日(金)必着
問合せ先：科学技術創成研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所 教授 加藤之貴
E-mail：kato.y.ae@m.titech.ac.jp

☆東京工業大学 科学技術創成研究院 准教授募集☆

募集人員：1名
専門分野：エネルギー貯蔵・変換に関連する分野
応募資格：博士の学位もしくはそれに相当する能力を有し、上記専門分野において先導的かつ国際的な研究実績があり、新しい分野を積極的に開拓できる方
応募締切：2021年10月15日(金)必着
問合せ先：科学技術創成研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所 教授 塚原剛彦
E-mail：tsukahara.t.ab@m.titech.ac.jp

☆静岡大学工学部・大学院総合科学技術研究科工学専攻 教員公募☆

募集人員：テニュアトラック 助教1名
専門分野：化学工学(資源化学, エネルギー, 物質変換, プロセス工学など)
応募資格：2022年4月1日において博士の学位を取得後10年以内であること、または着任時までに学位取得見込みのものであること。
応募締切：2021年11月5日(金)必着
応募封筒に「テニュアトラック助教応募書類在中」と朱書きしたうえ、書留等の配達記録が確認できる方法で郵送すること。
問合せ先：〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3丁目5-1
静岡大学 学術院 工学領域 化学バイオ工学系列 福原長寿
TEL：053-478-1171
E-mail：fukuhara.choji_at_shizuoka.ac.jp _at_ は @ に変更すること。

公募

☆2021年度 第21回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞 候補業績☆

募集内容：グリーン・サステイナブル ケミストリー (GSC) の推進に貢献する優れた業績に対して贈られます。
※GSC：人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学
・経済産業大臣賞：産業技術の発展に著しく貢献した業績
・文部科学大臣賞：学術の発展、普及に著しく貢献した業績
・環境大臣賞：総合的な環境負荷低減に著しく貢献した業績
・ベンチャー企業賞・中小企業賞：中小規模の事業体による業績[賞金(50万円/件)を贈呈]
・奨励賞：将来の展開が期待できる業績
応募要領：JACIwebサイトのGSC賞ページ (http://www.jaci.or.jp/gscn/page_03.html) をご覧ください。
応募締切：2021年11月19日
問合せ先：公益社団法人 新化学技術推進協会(JACI)
GSC賞担当 小林
TEL：03-6272-6880
E-mail：gscn21@jaci.or.jp